


学校推薦型選抜 2025



PRODUCT DESIGN

生産デザイン学科

学科・専攻の特色

プロダクトデザイン専攻は長年にわたり、製品デザインの業界で国内に限らずグローバルに活躍し、けん引するデザイナーを数多く輩出しています。また、デザイン界のみならず、産業界でもネットワークを構築し活躍しています。プロダクトデザインの領域は今や製品の形や素材、色にとどまらず、人とモノとの関係が創り出す生活や、その生活を作る空間や社会などにも広がりを見せています。本専攻の教育プログラムもそれらの変化に対応し、ベーシックなスキルとなる“手”で考える美の追求から、多角的にモノゴトを見て考える力や、最新のコンピュータの活用力、国際人としてのコミュニケーション力、プレゼンテーションメソッドなどのアクティブラーニングを活用し、未来を担う個性豊かなプロダクトデザイナーの育成を実現しています。

選抜方針

プロダクトデザイン専攻は、学校推薦型選抜をプレゼンテーション入学試験と位置づけ、受験生自らの創造を発表する場としています。選択Aの科目「アイデア/プロセス」は、文章でのアイデア説明に加えて、イラストや図式、漫画などを用いての紙面表現です。問題文を理解したうえでアイデア発想力を採点基準とします。選択Bの科目「スケッチ/デッサン」は、デザインスケッチや鉛筆デッサン、カラー描写などによる紙面表現です。問題文に応じた描写内容と表現力を採点基準とします。ともに初日に実技を行い、2日目にはそれら作品のプレゼンテーションを行います。なお、合否判定に用いるのは、選択A、Bともに出願時に提出する自己アピール文を含む「書類」と「実技試験」「プレゼンテーション面接」です。受験生の自由かつオリジナリティあふれる発想力や表現力に期待する新しい入学試験方法です。

高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

授業での学習や課外活動・クラブ活動でのコミュニケーションスキルは、その後のプロダクトデザインの学びには大切な要素です。加えて次の3つを学習し、経験してください。1つ目は“自らの長所、特技に磨きをかけること”です。自己アピール文に記入できる自らの強みを作ってください。2つ目は“発表力”です。プレゼンテーション面接の際に、自らの作品の良さを力強く明るくプレゼンテーションしてください。3つ目は“人間力”です。そのモノを必要としている人の気持ちになり、思いやりのある提案を考えてください。そのためにも日常で気になる事は放置せずに考察する習慣を見に付け、問題解決のアイデアが考えられるといいですね。

学校推薦型選抜 (学校長推薦が必要となります)

募集人員 : 20名 (選考結果によって募集人員に満たない場合があります)

出願期間 : 2024年11月1日(金)～11月7日(木) [WEB出願のみ]

出願書類郵送 : 2024年11月1日(金)～11月7日(木) 消印有効

出願資格 : 次の「1」「2」すべてに該当する者。

1. 出願学科を専願し、強く学ぶことを希望する者で、本入学試験に合格した場合に入学を確約できる者。
2. 高等学校課程の出身学校長の推薦を受けることができる、次のいずれかに該当する者。
 - ① 日本における高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を2024年3月に卒業した者または2025年3月に卒業見込の者。
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2023年4月1日から2025年3月31日までに修了する者またはこれに該当する見込の者。
 - ③ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)を2024年3月に修了した者または2025年3月に修了見込の者。

※学校推薦型選抜と帰国生選抜の出願資格を有する者はいずれかの入学試験のみ出願できます。

選抜科目・日程

※ 選択AもしくはBのいずれかを出願時に選択してください。

選択 A

11月23日(土) アイデア/プロセス [3時間]

※ 文章でのアイデア説明、他にイラスト・図式などを使った紙面表現

11月24日(日) プレゼンテーション面接

※ 上記で制作した作品を説明・アピールする

選択 B

11月23日(土) スケッチ/デッサン [3時間]

※ デザインスケッチ・鉛筆デッサン・カラー描写などによる紙面表現

11月24日(日) プレゼンテーション面接

※ 上記で制作した作品を説明・アピールする

学校推薦型選抜 試験問題 選択A アイデア/プロセス

問題：

家庭内(屋外・屋内)使用を前提に、使われる場所での過ごし方や楽しみ方、活用方法を想定し、「家族で植物を育てる」アイデアを考え、その際に使用するプロダクトを指定用紙に記しなさい。

条件：

1. 指定のA3用紙1枚(左上枠内:タイトル/左中段枠内:文字によるアイデア説明/左下から右半分:図式、チャート、イラスト、漫画<コマ漫画>等、自由に記述)に考えをまとめる。
2. 指定の提出するA3用紙1枚にて、アイデアの展開について、明日プレゼンテーションを行う。
3. アイデアメモ用紙(A4-3枚)も提出しなさい。
4. 記述の筆記具、画材は鉛筆(シャープペンシル含)、色鉛筆、サインペン、カラーマーカーとし、水を使用する画材は不可とする。

学校推薦型選抜 試験問題 選択B スケッチ/デッサン 〈支給モチーフあり〉

問題：

与えられたモチーフを自由に構成し、スケッチまたはデッサンしなさい。

条件：

1. 指定用紙(クレセントボード:B3)は縦横自由とする。
2. 提出の指定用紙1枚にて、描写内容について明日プレゼンテーションを行う。
3. 描写の画材は鉛筆(シャープペンシル含)、色鉛筆、サインペン、カラーマーカーとし、水を使用する画材は不可とする。

配布モチーフ：紙製育苗ポット — 5個
ジョウロ — 1個



【選択A】

Midori NOTE

植物と子供の成長を見れる組み立て式アランター

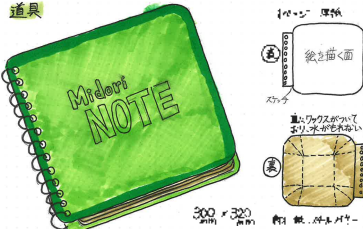
親と子供がいっしょに植物を育てるという場面を想像した時、子供にとっては「早く育たないかな」といいたくわくとおどろきが湧き出ている一方親としては、そんな我が子を見ることも楽しく、うれしく感じるのではないだろうか。

植物の成長と子供の成長を紐付け親も子も楽しんで植物を育てることができるアログラフ

使い方

- 子供がノートに自由に絵を描く
- 描き終わったページを切り取って綴じて切り離す
- 切り離したものを新しい目に飛ぶ組み立てる（所附のアラログラフをはがし使う）
- 土、お好みの植物の種を入れて、水をやりながら育てよう！

道具



300mm x 300mm
厚み 約 1.5cm

すぐにでも商品になりそうなリアリティと実際に商品になった場合の値頃感も含め、生活シーンに即したアイデアに着地させる能力の高さを感じます。子供が楽しみながら「絵を描く面」と「水を注ぐ植木鉢の面」が必要とする機能的側面にも注意が配られていて、「欲しい!」と感じる作品です。

ADORIGI

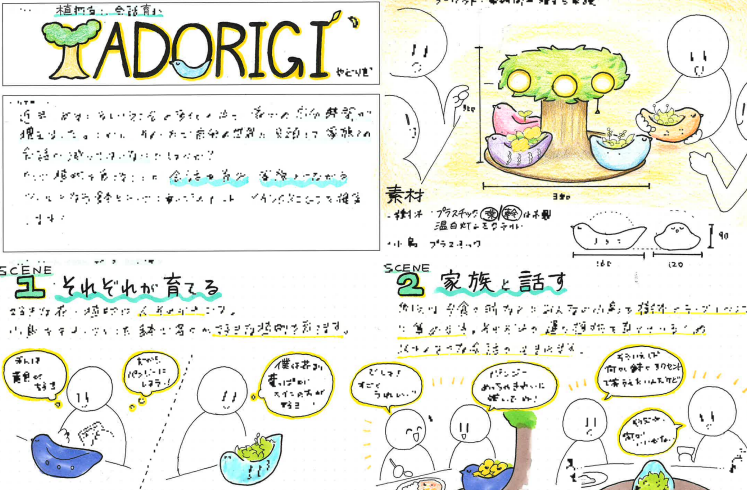
植物名: 金魚草

「金魚草」は、金魚の姿を模した可愛らしい花です。花の色は鮮やかなオレンジ色で、葉は緑色の心臓形で、まるで金魚の尾びれを思わせるような美しい花です。また、金魚草は非常に丈夫で、初心者でも育てやすい植物です。また、金魚草は非常に丈夫で、初心者でも育てやすい植物です。

使い方

- 子供がノートに自由に絵を描く
- 描き終わったページを切り取って綴じて切り離す
- 切り離したものを新しい目に飛ぶ組み立てる（所附のアラログラフをはがし使う）
- 土、お好みの植物の種を入れて、水をやりながら育てよう！

道具



300mm x 300mm
厚み 約 1.5cm

今の時代の幸せな家族像が浮かんでくる作品です。個（個性や趣味・嗜好）を大切にしながらも、集まり、互いを意識しながらの会話が弾むといった微笑ましいシーンが評価されました。設問が意味する“使われる場所での過ごし方や楽しみ方”という時間経過が巧みに表現されています。

【選択B】



左上：画面一杯に浮遊しながら力強いメッセージを発しているのがこの作品の魅力です。メインの大きなモチーフのジョウ口を前方と後方に分けて描写する事で複数に見せ、支給が5個の育苗ポットも破れたり、歪んだりさせ7個描いている。モノ同士が及ぼしている陰影や前後感も巧みです。

右上：他作品にも見られる浮遊表現ですが、この作品が持つ魅力は爽やかな空気を感じさせる描写とダイナミックな動き（育苗ポットが前後感ある円弧状で跳ね上がっている）、画面一杯の構図です。モチーフを持つ素材感（プラスチックと繊維状素材のモールド）のコントラスト表現も巧みです。

左下：何か下から突き上げる現象が起きたかのように、紙面の中にエネルギーが漲っているのが評価されたポイントです。難しい形状のジョウ口をチャレンジングな角度で配しながらも、立体感やハイライトの入れ方で魅力的に描写し、加えて育苗ポットの質感誇張にも技量を感じます。

入学前プログラムの実施



学校推薦型選抜合格者には、入学前プログラムとして鉛筆デッサンおよび色彩構成の制作を課しています。また3月には学校推薦型選抜合格者及び教授陣が参加する合同講評会を開催し、合格者それぞれに対しコメントやアドバイスを送り、入学に備えます。

■ 学生募集要項

7月中旬以降に本学ホームページで学生募集要項を公開する予定です。

出願手続きや出願書類、試験日の集合時間、持参用具などは必ず学校推薦型選抜の「学生募集要項」で確認してください。

■ お問い合わせ先

多摩美術大学 教務部入試課

TEL : 042-679-5602 e-mail : nyushi@tamabi.ac.jp

■ キャンパス所在地

多摩美術大学 八王子キャンパス

〒192-0394

東京都八王子市鎌水 2-1723

JR 横浜線・京王相模原線橋本駅北口から神奈川中央交通バス「多摩美術大学行」で約 8 分。
または、JR 八王子駅南口から京王バスで約 20 分。



多摩美術大学生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻オリジナルサイト

<http://www.tamabi.ac.jp/product/>

